



学校だより

令和5年10月31日

横浜市立南小学校

校長 薄田 秀明



「実りの秋」～ためつ すがめつ～

ふくこうちよう しんたに あき こ
副校長 新谷 亜希子

秋が深まってきました。「〇〇の秋」というと、何を思い浮かべますか?「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」「食欲の秋」・・・。

先日は、「スポーツの秋」にぴったりの天候に恵まれ、学校の大きな行事の一つである運動会を実施しました。参観者の人数制限をなくし、多くのご家族の皆様の応援に応え、子どもたちは練習の成果を発揮して、一生懸命演技や競技に取り組みました。限られた場所での参観でしたが、ご協力ありがとうございました。そして当日は、PTA役員、おやじの会の皆様には受付や安全見守り等、多大なご協力をいただきました。また、2日前の12日には、花ボランティアの皆様が花苗の植え替えを行っていただきました。南小学校の運動会が多くの皆様のご協力により実施できていることに感謝いたします。

この季節は、「芸術の秋」にふさわしい行事が続きます。先日は、1～4年生を対象に音楽鑑賞会を行いました。バイオリンとピアノの美しい旋律を聴くだけでなく、手拍子をしたり体を動かしたり、子どもたちは、思いきり音楽を楽しんでいました。11月も、3年生の区音楽会、6年生の久良岐能舞台狂言教室、心の劇場など、音楽や伝統芸能、演劇の鑑賞や体験が続きます。本物に触れる貴重な機会ですので、心から楽しんでほしいと思います。

「読書の秋」11月は読書月間です。私は、毎日の通勤電車の中での短い時間ですが、少しずつ本を読んでいます。読書の好きなどころは、物語の面白さやすばらしさはもちろんなのですが、自分ではあまり使わない言葉や言い回しが出てきたり、読めない漢字に出会ったりすることです。意味や読み方を調べながら読み進めています。最近気に入った表現は、「ためつ すがめつ」という言い回しで、意味は「いろいろな角度からよく見ること」です。それが使われていたのは、たくさんの方が一つのをあちから見たりこちから見たり、裏返してみたりしながら見つめている場面でした。その様子が心の中にあちからと浮かび、見ている人たちの表情までが想像できて、思わず自分もいっしょに見ているような気持ちになりました。その他にも、「開け閉め」は、字のごとく開閉することなのですが、この表現だと、例えば扉だとしたら、丁寧に開け閉めしているように感じます。表現や言い回しの違いで細かな機微を感じ取ることができるのです。このように、大人になってからでも、言葉との新たな出会いがあるのですから、子どもにとっては、もっと広がりや深まりがあることでしょう。南小の図書室は自慢の場所の一つです。季節ごとの掲示(飾り付け)やおすすめの本のコーナーのほか、今月は楽しい企画もあります。ぜひ、この読書月間にたくさんの本と出会い、多くの素敵な表現に触れてほしいと思います。

南小では、職員みんなで、子どもたち一人ひとりを「ためつすがめつ」支援、指導してまいります。「食欲の秋」南小のおいしい給食で体も心も元気に頑張ります。

引き続き、ご協力をお願いいたします。